

(様式第3号)

吉田学術教育振興会  
令和4年度 教材活用状況報告書

報告日 令和5年11月1日

公益財団法人 吉田学術教育振興会

理事長 山倉 修一 殿

助成事業の 名称	令和4年度 教育振興助成事業 (1) 資材・器材の寄贈
報告者	福岡市立 博多工業 高等学校 教頭 永野 聖吾 (連絡先 TEL: 092-862-6575 )
寄贈品	プロジェクター (天井設置型)、天井金具、パイプ、HDMI ケーブル ノートパソコン
活用状況 (使用者、使用内 容、使用頻度等)	【令和5年4月~9月実績】 〔校内〕 ○ (生徒・教員) 授業、 不定期で適宜使用 (合同授業等) ○ (生徒・教員) 進路ガイダンス、 年間10回実施 (延べ約600名参加) ○ (教員) 職員研修、 現在9回実施 (延べ約630人参加) ○ (PTA・教員) 委員総会・研修会・修学旅行プレゼン 現在5回実施 (延べ約250名参加) 〔校外〕 ○ (中学生) 1日体験学習学校説明 現在10校 (延べ231名参加) ○ (中学校教員) 中学校先生対象学校説明会 1回 (18名参加) ○ (中学校PTA) 中学校PTA学校見学会 現在2校 (延べ66名参加)
申請当初の 目的達成状況	・プロジェクターを持ち込む必要がなくなり、HDMI端子が壁に設置されたことによりケーブルの接続等セッティングがスムーズに行えるようになった。作業効率が上がり、授業や研修など幅広く活用できている。 ・コロナ対応が緩和されたことにより来校者が増加し、学校紹介等に使用できている。
教育的効果につい て所見等	・現在の教育活動において ICT 機器の活用は不可欠である。今回、視聴覚室のプロジェクターが整備されたことにより、授業での活用幅が広がっている。また、研修等で使用する機会も増え、教育効果は上がっている。

## 活動状況の写真等（当日の様子など）

### ●授業での活用



・授業での活用風景。雨天で屋外での体育の授業が出来なくなったため、視聴覚室で ICT 機器を使用した 2 クラス合同の授業を行った。

### ●知的財産教育セミナー



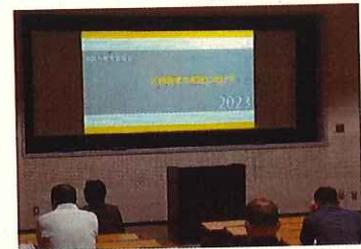
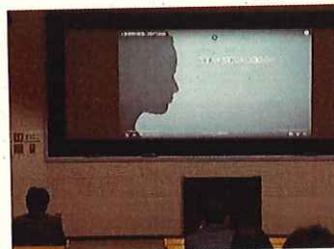
・1年生 LHR の時間に外部講師を招聘し、「知的教育財産セミナー」を実施した。実施形態として、視聴覚室に 1 クラス。その他のクラスは各教室でインライン配信を視聴する形態で行った。

### ●中学校先生対象の学校説明会



・中学校の先生に、工業高校をもっと知ってもらう目的で説明会を実施。パワーポイントを使用し学校説明（教頭）及び進路状況の説明（進路指導主事）を行った。

### ●職員研修



・校内人権教育研修会を行った。

### 今後の活動見通し・課題

○プロジェクター・コンピュータが整備されたことにより、視聴覚室の利用頻度が増すと予想される。更に利便性を増すために、音声機器の整備を考える必要がある。